

このページは、Google で 2006年8月14日 22:01:53 GMTに保存された http://www.toyokeizai.net/online/tk/column4/?kiji_no=5 のキャッシュです。

Google がクローリング時にページを保存したものです。

そのため、このページの最新版でない場合があります。こちらから [最新のページ](#) (ハイライト表示なし) を参照してください。

このキャッシュ ページにはすでに参照不可能な画像が使用されている可能性があります。テキストのみのキャッシュ ページを参照する場合は [ここ](#) をクリックしてください。

このページのリンク又はお気に入りの登録にはこのURLをお使い下さい http://www.google.com/search?q=cache:kEgR_XNnNnQJ:www.toyokeizai.net/online/tk/column4/%3Fkiji_no%3D5+&hl=ja&ct=clink&cd=1&client=safari

q=cache:kEgR_XNnNnQJ:www.toyokeizai.net/online/tk/column4/%3Fkiji_no%3D5+&hl=ja&ct=clink&cd=1&client=safari

Googleはこのページまたはページ内のコンテンツとは関連ありません。



お出かけ前に調べて安心

サイト内
検索

検索

文字の大き
さ



ホーム デジタルコンテンツショップ 会社四季報速報プラス 買物 サイトマップ FAQ お問い合わせ 東洋経済 web

新着コンテンツ The Headline Key Person データ&ランキング 連載コラム 告知版

ID :

パスワード :

ログイン

パスワード
を
お忘れの方

東洋経済オンライン
入会案内

メールマガジン
登録・変更

ホーム > 週刊東洋経済TKプラストップ > 連載コラム

連載コラム



シリコンバレーレポート

アップルコンピュータに物申す

TK

(2006/08/11)

最も強力なテクノロジー・カンパニーであるアップルコンピュータが、サンフランシスコでワールド・ワイド・ディベロッパー・コンファレンス (WWDC) を開きました。その目玉は、アップル恒例の、スティーブ・ジョブズCEOによる1時間半の基調講演。私も御多分に漏れず、新技術や新製品の発表を期待し、朝5時起きでモスコニーセンターに向かいました。会場に到着すると、すでに約4,000人以上のソフトウェアエンジニアと、ジャーナリストたちが集まり、ジョブズ氏の発表を今か今かと熱く見守っていました。

傲慢なアップルのメディア対応

メディア用の席は会場の左端に用意され、私はできるだけ、前方に腰掛けました。予め失礼のないよう、アメリカ人女性の広報担当者に「ジョブズさんの写真を近くで撮らせてほしい」とお願いしました。しかし、ジョブズ氏の発表中、私が写真を撮っていると、その広報担当者がいきなり腕をつかんできました。「(デジタルカメラの)フラッシュは使っちゃいけないの、知っているはずよ!」。アジアからきたジャーナリストも、私と同じように、広報担当者に注意を受けていました。

「フラッシュの操作が止められない」とその女性に言うと「あんた、どこのメディア?」と、脅すように聞いてきました。横から「アップルはメディアに高飛車だから」とアメリカ人のジャーナリストが一言。いかに技術が優れている会社とはいえ、マフィアのようなこの対応はいかがなものでしょうか。雑誌「ワイアード」のコラムニストによると、アップルは秘密主義で、招待したメディアだけに製品発表をするそうです。10年以上取材しているカメラマンは、「1対1の対応はないし、イベントの



時だけ都合のいいように呼んでくる」と言います。ジョブズ氏を含む同社の幹部にインタビューのお願いをすると、約1年待たされることが普通だそうで、私たちジャーナリストを広告宣伝の道具としてしか考えていないようです。

肩すかしの発表会

シリコンバレーの外国人特派員たちの会で、メディア対応のワースト企業にアップルの名が挙げられたこともあり、「スティーブ・ジョブズは有名すぎて、もう私たちの取材は必要ないのよ。広報は彼をメディアから守ることが仕事になってるんじゃないの?」と、あるアメリカ人ライターが言います。

今回のWWDCではパワー・マックを搭載した新しいMacProデスクトップにはちょっと心惹かれましたが、巷で噂にのぼっていた、4インチのタッチ画面をもつiPodや、携帯電話のiPhoneなど、期待された商品の発表はありませんでした。OSのXレオパードも来春発表とのことで、完全に肩透かしです。いつものように、最後の最後に発表される驚きの製品は、今年はありませんでした。

今年のWWDCでは、ジョブズ氏は、初めて独りでの講演をやめ、いろいろなメンバーが壇上に上がりました。同じ年齢のビル・ゲイツ氏が引退したこともあり、後継者養成を考えているのでしょうか。心なしか、ジョブズ氏は少し痩せた感じで、例年のようなエネルギーを感じられませんでした。個人的な話ですが、私の母がすい臓がんで急逝したこともあり、すい臓がんを手術で克服したジョブズ氏には敬意を持っていました。初めて持ったパソコンがアップルで、昔からアップルには思い入れが少しありました。それだけに、メディアへの対応振りがちょっと残念です。



今回のカンファレンスには、日本からも多くのエンジニアが会議参加費やホテル代を払って、会場に駆けつけていました。多数のファンの期待に、ジョブズ氏率いるアップルは、これからどう応えていくのでしょうか。その第一歩としてまず、広報担当者の人間教育に励んで欲しいものです。

高木あやか

山口生まれ、広島育ち。都立大学法学部卒。学生時代時からAP通信で働く。衛星放送の番組ディレクター、読売新聞英字新聞部記者を経て、現在シリコンバレーと東京を拠点とするライターに。趣味は水泳、スキー、旅行、飛行訓練。ご質問・コメントはayakatakagi@yahoo.comまで。

▶ Back Number

[アップルコンピュータに物申す\(08/11\)](#)

[ある日本人エンジニアの、快挙を祝う\(08/07\)](#)

[IBM化するヒューレット・パッカード\(07/28\)](#)

[企業家とベンチャーキャピタリストの微妙な関係\(07/24\)](#)

[ゲイツ財団とは違う、ウェブ2.0企業の社会貢献\(07/24\)](#)



[▲ ページトップへ](#)

| [サイトポリシー](#) | [個人情報の取り扱い](#) | [お知らせ](#) | [広告掲載のご案内](#) |

Copyright 2006 Toyo Keizai, Inc., all rights reserved.
東洋経済新報社